

演習 I

担当者 加藤 慶一郎

開講時期 通年 単 位 4

●講義の概要

日本経済史あるいは日本経営史の研究領域において、地域経済や企業の歴史的発展過程に関心を払いながら、修士論文を作成するために必要な基礎能力を養います。まずは研究課題の設定にむけて、基本文献の輪読からはじめます。

●講義の到達目標

日本経済史や日本経営史の領域で修士論文を作成する基礎的能力の習得をめざします。その過程においては、基本文献だけでなく、学術書・学術論文を消化していきます。それと並行して、自分の関心と研究史の現在の到達点を見すえながら、長期的な展望のもと、研究期間内に実現可能と思われる課題を設定します。その後は、必要な史料の収集と分析をくり返すなかで、報告と討論をつうじて内容の充実をはかりたいと思います。そのさいには、困難があっても、かたんにあきらめない、ねばり強さが必要です。

●講義計画

前期はテキストや基本文献の輪読と討論をつうじて、当該分野の基礎をひろく学びながら、研究課題の設定につとめてもらいます。後期は研究課題に直接関連する先行研究を丹念に検討すると同時に、調査をつうじて収集した史料の分析をおこないます。また、必要におうじて、本学の商業史博物館の所蔵史料を利用して、一次史料の実践的な読解をおこないます。

●成績評価基準と方法

各回の準備状況・発表・討論と期末レポートをそれぞれ10%、10%、25%、55%の比重で評価します。そのさいには、修士論文作成に必要な研究能力と、当該分野におけるこれまでの研究にはない、新しい知見をえるだけの調査能力と分析能力を身につけることができたか、が重要になります。

●テキスト又は参考文献

テキストは受講生と相談したうえで決めたいと思います。参考文献は、それぞれの研究課題やすすみ具合にあわせて、そのつど指示します。

●受講上の留意点

演習は、先行研究の内容や歴史的事実をたんに学ぶ場ではありません。新しい知見をうみだすための能力を身につける必要があります。そのためには、すべてにおいて、ねばり強さが必要です。